

議事要旨

1 会議名	令和6年度第1回ごみ減量再資源化推進会議
2 次第	1 会長・職務代理者の選出について 2 吹田市ごみ減量再資源化推進会議 設置規程の改正について 3 食品ロス削減について (1) 令和6年1月に開催したフードドライブの取組結果 (2) 今年度のでまどりキャンペーンについて 4 その他 (1) EXP0 グリーンチャレンジ参画について (2) 廃食用油の回収 について (3) その他
3 開催日時	令和6年(2024年)7月9日(火) 午後2時～午後3時30分
4 開催場所	メイシアター集会室、Zoom
5 出席委員	学 識 1名 市民団体 5名 事業者 14名 行 政 0名 合 計 20名
6 発言等の要旨	次第1 会長・職務代理者の選出について 会長の任が令和6年6月30日付で一度終了した。そこで、吹田市ごみ減量再資源化推進会議規定の第4条第3項に基づき、会長の互選を行い、引き続き三輪委員を会長とすることが決定された。 続いて、吹田市ごみ減量再資源化推進会議設置規程の第4条第4項に基づき、会長の指名により、鴻巣委員を職務代理者とすることが決定された。 次第2 吹田市ごみ減量再資源化推進会議 設置規程の改正について 【事務局】 本会議の構成団体であった吹田市消費者団体協議会が令和6年6月30日に解散されたことに伴い、吹田市ごみ減量再資源化推進会議設置規程を改正する。

	【会長】 質問等はあるか。 (質問等なし)
	次第3 食品ロス削減について (1) 令和6年1月に開催したフードドライブの取組結果 (2) 今年度のでまどりキャンペーンについて 【事務局】 令和6年1月に開催したフードドライブの取組結果について説明。 また、市で配布しているフードドライブのチラシについて、ファミリーマートの2店舗が6月4日からフードドライブを実施しているため追加している。 【会長】 質問等はあるか。 (質問等なし) 【会長】 全体的に量が増えている訳ではないのか。提供者は大体同じ方なのだろうか。 【事務局】 提供者の名前は不明だが、フードドライブの知名度が上がってきたことや、フードドライブに提供するような食品ロスを出さないように気を付けている方が増えることにより、フードドライブの量も減っていくと思われるため、量が増えていないのは良いことであると考え 【事務局】 今年度のでまどりキャンペーンについて説明。 今年度は、てまえどりキャンペーンの効果検証を数字などの目に見

	える形で実施したい。例えば生鮮食品売り場、乳製品売り場など、廃棄量又は仕入れ量が分かる場所にポスター等を掲載していただき、前年と比較できるような形で協力していただければと考えている。 【会長】 市ではフォームを用意しており、そのフォームをもって検証してくださいということか。 【事務局】 具体的なフォームというよりは、昨年度のアンケート結果も踏まえ、廃棄量や仕入れ量が分かる場所で効果検証できないかと思っているところである。 昨年度、効果がなかなか見えづらいという声をいただいた。全ての売り場で実施するのは難しいと思われるため、場所を限定してでも構わないので、効果検証ができないか。ご見解等を教えてほしい。 【事業者（スーパー１）】 てまえどりキャンペーン自体は良いが、効果検証は難しい。ポップを掲載している場所のみなら効果検証できるかもしれないが、方法は市と相談したい。 店舗に値下げコーナーがあるが、打ち出し方が難しい。てまえどりキャンペーンのポップがあればコーナー化しやすいし、客も足を止めやすい。 ポップのデザインを覚えている人はいると思う。広く知られている訳ではないかもしれないが、一定数の認知はある。 【事業者（スーパー２）】 てまえどりはテレビ CM 等で認知度は高い。 効果検証は難しい。 【事業者（スーパー３）】 弊社は 2018 年からてまえどりを実施している。年中実施しており、吹田市のてまえどりキャンペーン期間は吹田市の資材、それ以外は独自の資材を使用している。 【事業者（スーパー４）】
--	--

	独自で年中ポップを掲示している。 他にも食品ロス削減の取組を実施しているため、てまえどりのみの効果検証は難しい。 【事業者（スーパー５）】 独自で年中ポップを掲示している。吹田市のてまえどりキャンペーン期間は店頭で吹田市のポスターを掲示しようと検討している。 客から「強制するな」「てまえどりをするなら見切りしろ」と苦情を受けることもあり、更なる周知が必要と感じる。 廃棄量は減少しているが、それがてまえどりとリンクしているかまでは検証できていない。 【事業者（スーパー６）】 ポップを掲示する場所は店舗に委ねているが、今回は牛乳売り場に掲示するよう指示してみる。数字は取ってみようと思うが、それがてまえどりのおかげかは不明。 【市民団体１】 消費者の意識がどれだけ変わったか検証することも必要。すいた環境教育フェスタのプレイベントで使用したアンケートのような簡単なアンケートを実施することも可能。 【市民団体２】 数字だけでなく、消費者への教育の意味もあるので、引き続き進めてほしい。 【市民団体３】 年中継続して掲示されていると意識するようになる。 【市民団体４】 出前講座で「エコなお買い物ゲーム」を実施しているが、てまえどりも追加し、年中続けていきたい。 【事業者（スーパー３）】 消費者へのアンケートについて、ボードにシールを貼るならできそう。てまえどりの更なる浸透のため、店舗で子供たちに啓発してもらう
--	---

	キャンペーン等を実施すれば、いつもと違う光景になるので、客の印象に残りやすい。
	次第4 その他 (1) EXP0 グリーンチャレンジ参画について (2) 廃食用油の回収 について (3) その他【事務局】 【事務局】 EXP0 グリーンチャレンジへの参画について説明。 EXP0 グリーンチャレンジを契機に、家庭からの廃食用油の回収拠点を増やしたいと考えている。市内スーパー等で廃食用油を回収しているところはあるか。回収をしていない場合、どのような課題等があるか教えてほしい。 【会長】 EXP0 グリーンチャレンジは市民に大々的に広めていくつもりか。 【事務局】 HP や市報6月号の環境月間特集ページにて、市が参加していることをアナウンスし、市民にはアプリをダウンロードして、市民も参加いただくよう促している。大阪・関西万博自体が注目されると思うが、その中でも環境の取組を市としても一緒に進めていけたらと考えている。 【会長】 吹田市民というくくりでデータが返ってくるのか。 【事務局】 データの細かいところは吸い上げられていないが、吹田市として返ってくるデータもあると意識している。 【会長】 廃食用油について、吹田市は市役所の中で回収しているのか。 【事務局】

	公共施設 15 か所で回収している。 【会長】 スーパー等で廃食用油の回収に取り組んでいる、取り込もうと考えているなど、いかがか。 【事業者（スーパー 6）】 豊中市で話があり、グループ全体で取り組もうとしている。グループ内の別のスーパーから話は来たが、弊社としては万ーこぼして客が転倒したら管理できないため難しい。 店舗の廃食用油は売却しており、100%リサイクルしている。 【事業者（スーパー 5）】 40 店舗程で開始している。店頭で回収ボックスを設置するスペースがなく、また、ボックスにごみを入れる方がいるため置いていない。最近の新しい店舗にはボックスを設置している。 廃食用油はリサイクルしている。店舗で使う手洗い洗剤を作ったりもしている。小学 3 年生を中心に野外授業をしており、環境関連の冊子を作り、地球温暖化等の話をしている。 【事業者（スーパー 4）】 2 店舗のみで回収している。過去に店頭で回収してみた際、ペットボトルのキャップが緩く、油が漏れたことがあり、以後断っている。2 店舗は、地元自治会から要請があり、自治会と業者で管理することだったため、スペースを貸し出している。 店舗の廃食用油は 100%リサイクルしている。航空燃料、バイオディーゼル、飼料化している。 【事業者（スーパー 3）】 店舗の廃食用油は売却している。 組合員のサークルのイベントで、家庭から廃食用油を持って来てもらい、石鹸を作るというものもあった。 【事業者（スーパー 2）】 廃食用油は回収していない。店舗の廃食用油は 100%リサイクルしている。
--	--

	話がずれるが、店頭でペットボトルを回収しているが、洗浄できていないものが多く、産廃になることが多い。 【事業者（スーパー１）】 店舗の廃食用油は売却している。石鹼や洗剤にリサイクルされている。 航空燃料の活用についてはグループ全体で進んでいる状況だが、当社内だけで言うと、関東の２店舗で実験的に廃食用油を回収している状況である。以前も関東の店舗で回収していたが、設置場所が店内なので汚れてしまい、店舗の管理が難しくなり解消したことがある。 吹田市と別途先行して店頭回収については継続的に相談する。廃食用油の航空燃料への活用は必要に迫られているんだという認識はある。 【事業者（その他１）】 廃食用油は業者に有価で再生化している。 【事業者（その他２）】 １つの事業で調理用オイルは１００％リサイクルしている。海外に輸出しているのが４４％、社内のボイラー燃料で利用しているのが２８％、洗剤の原料・工業用に１５％、動物用の飼料で１１％。 【事業者（その他３）】 廃食用油を出さないよう工夫している。 【市民団体１】 家庭系の廃食用油はあまりリサイクルされていないのが現状ではないか。 大東市の廃食用油リサイクル業者から聞いた話だが、家庭系の廃食用油は年間１０万トンと推定されているが、リサイクルされて燃料になるのは１万トン、廃棄が９万トン。 業者はスーパーにも回収に行き、業務用・家庭用・店頭の回収にも協力しており、廃食用油の回収容器も持参されているそう。吹田市が今後取り組む場合には、小回りの利いたところにも配慮がいるのではないか。 今、吹田市が廃食用油を回収し、業者が取りに来ていると思うが、
--	--

	その業者がスーパー等にもトラックで回収に回るという解釈でよい か。 【事務局】 EXP0 グリーンチャレンジということで、来年の大阪・関西万博も見据えながら、こういうきっかけを捉えて何かさせていただくことで、市民の意識を上げていくきっかけになればと、今スタートラインに立ったところである。これをきっかけに良いスキームが作れないか検討し始めているのが現状。 業者の回収の件は検討中ということをお願いできればと思う。 【市民団体1】 廃食用油の回収業者も EXP0 グリーンチャレンジの中でも取り組んでいくと言っていた。また、万博会場でも廃食用油を利用した車両燃料を利用すると聞いた。スーパー等にはぜひご協力いただけると嬉しい。 とにかく家庭系廃食用油も回収アップしてほしい。 【事務局】 大阪府が実施主体となっている食品ロス削減ボランティア活動推進事業について、本年度、吹田市とエキスポシティも一緒に取り組むことになった。詳細が決まり次第、みなさんに連絡させていただく。
--	---